

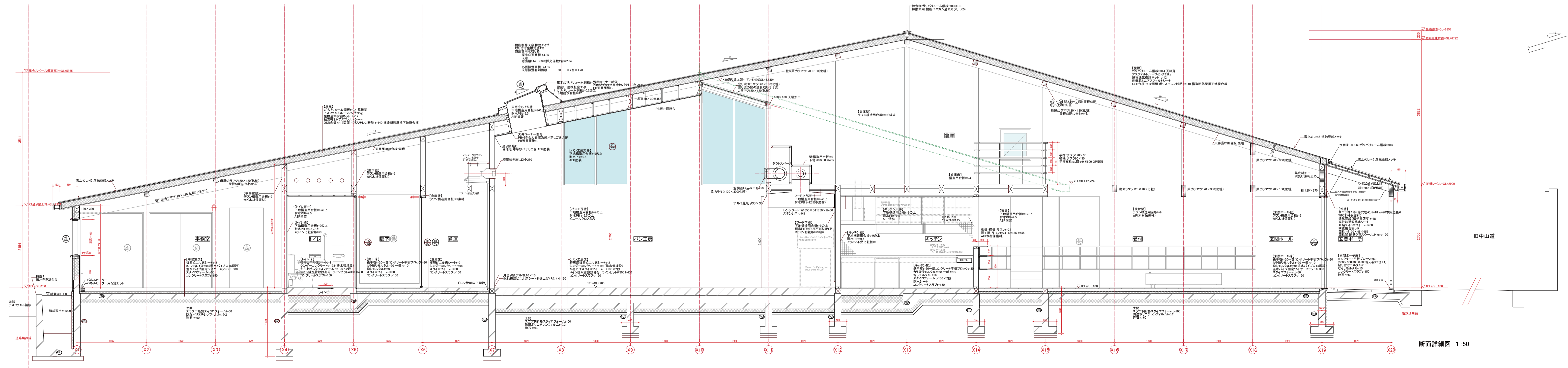
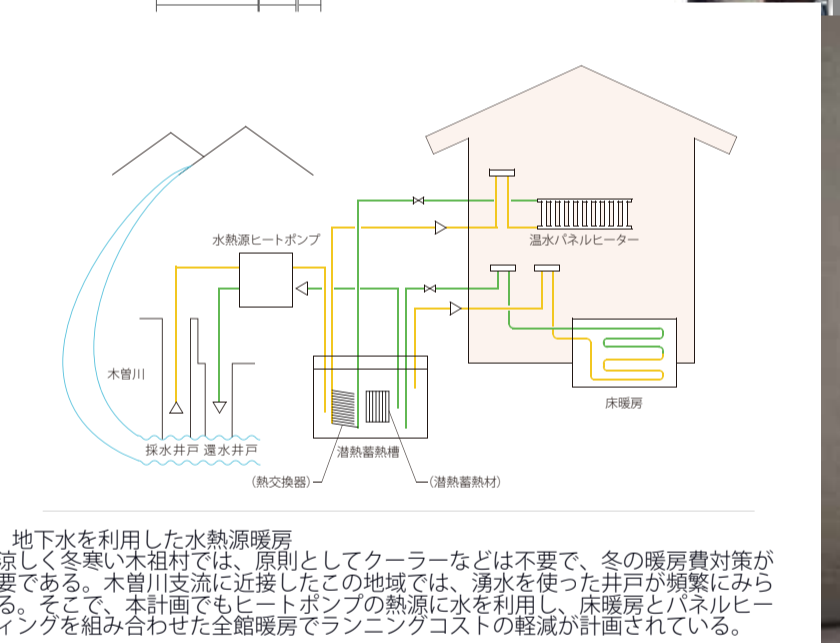
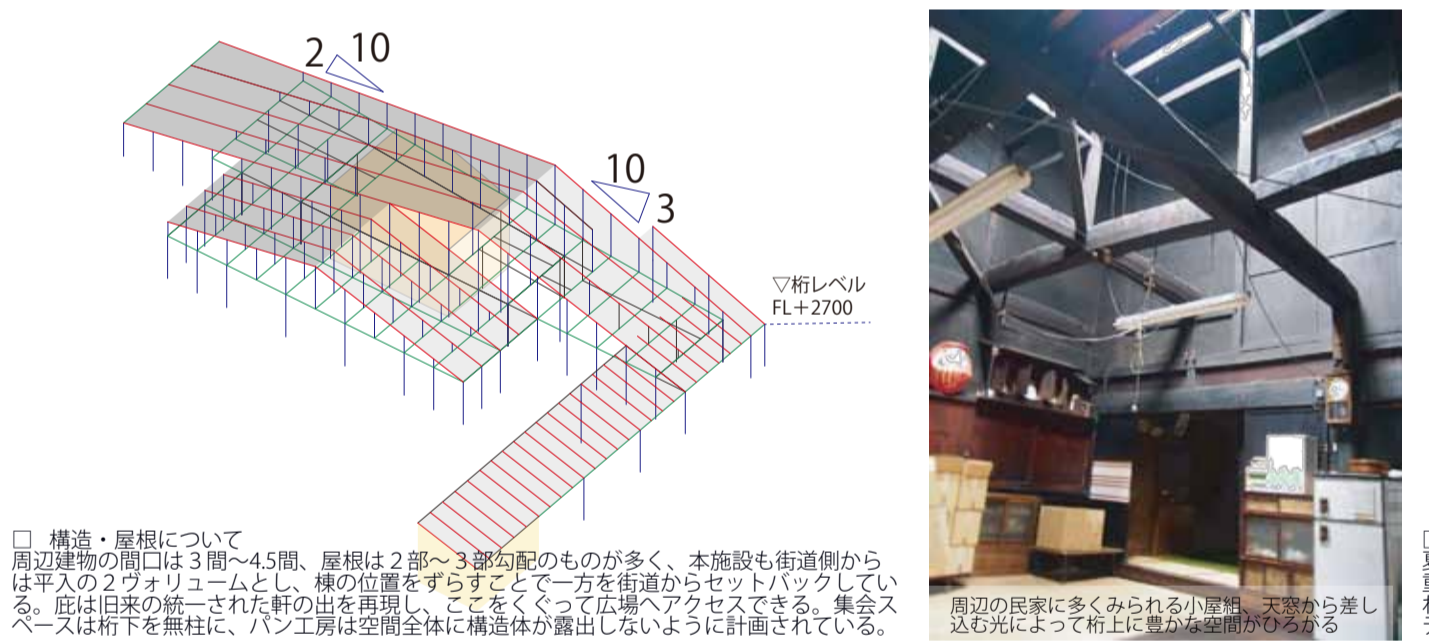
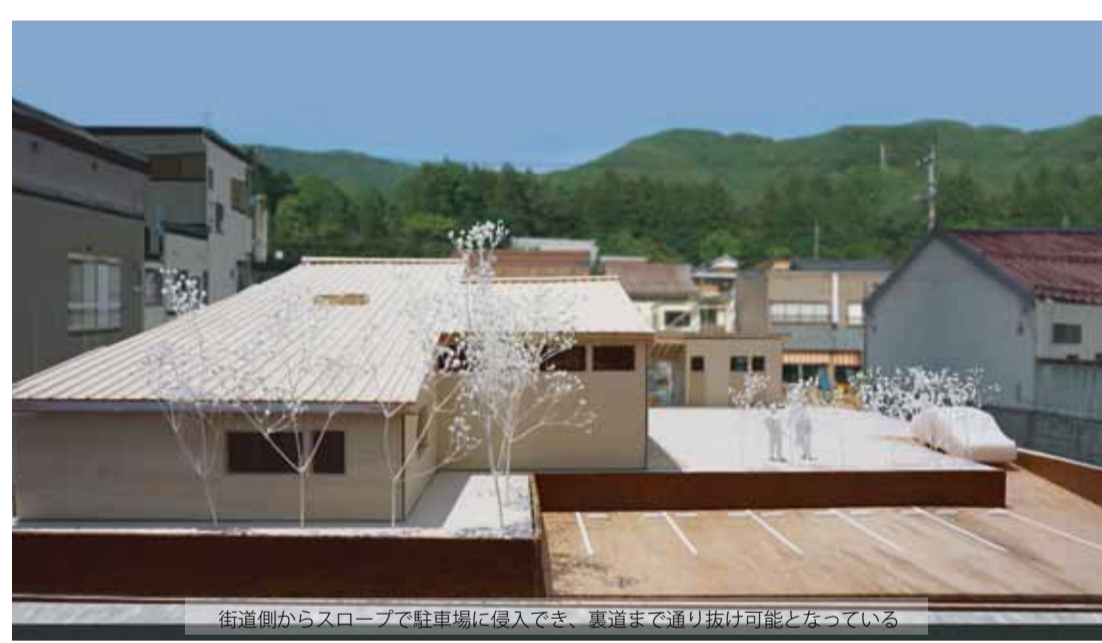
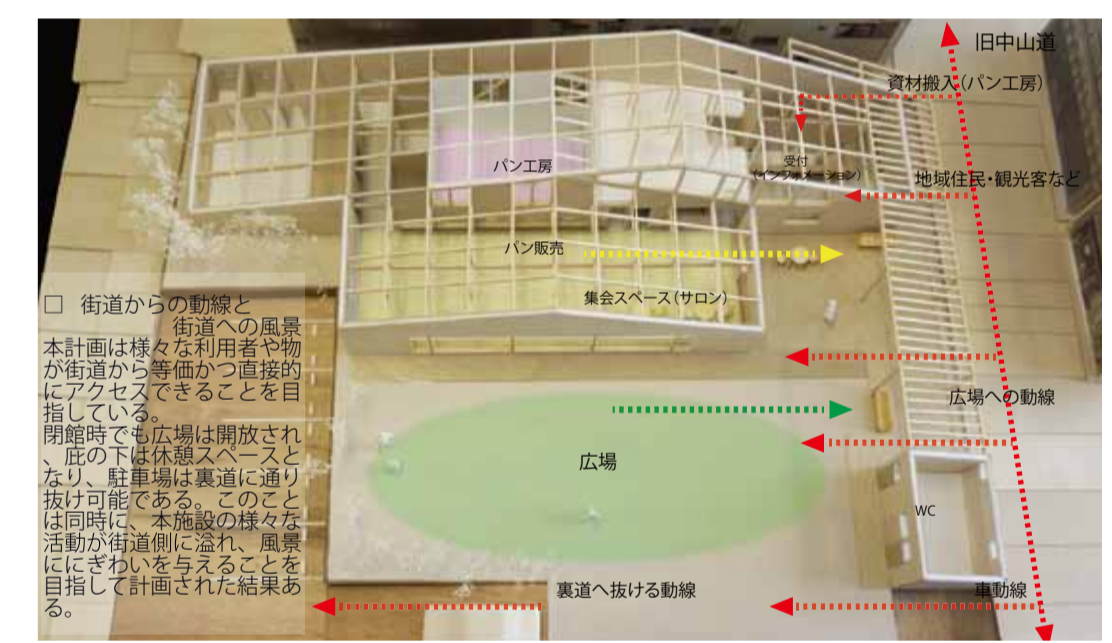
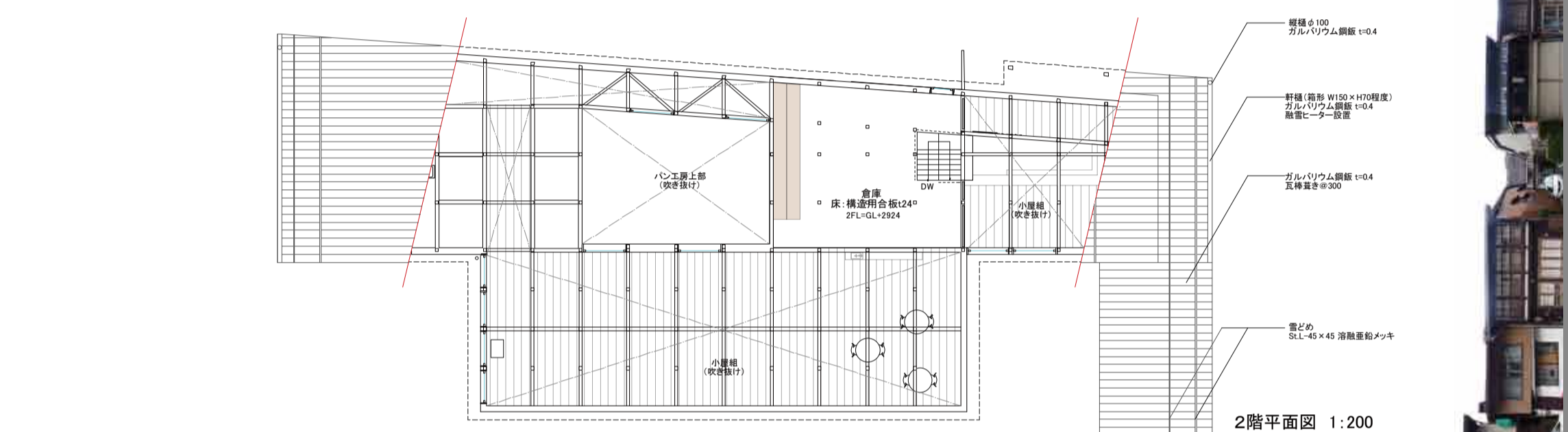
長野県木祖村にぎわい交流施設

長野県木祖村は木曾川源流の里として知られる、豊かな自然に恵まれた山間の村である。村の中心施設が位置する戦前地区は、江戸時代より中山道宿場をもとに発達してきた集落で、並ぶ家と称される街道沿いの住宅形式が残存している。近年空き家や空地が目立つようになり、高齢化過疎化と合わせた対策が急務となっている。そうしたなかで、街道に面する旧役場を村にぎわいの場、地域住民と少しでも観光客や訪問者も交流できる憩いの場として建て替えることとなった。また、本施設は障がい者支援の目的でパン工房が予定されている。これらのプログラムに加え、街道沿いの風景を牽引する役目も本施設は担っている。歴史的遺産である並ぶ家と現代生活の調和が求められ、並ぶ家の構造、屋根勾配、軒高などこれまでの建ち方が持続されるとともに、日曜市やお祭り時の出店場所、冬期の雪止め場として活躍する広場が新たに設けられることとなった。



概要
 建築用途：多目的交流施設
 一部障がい者支援施設（パン工房）
 公共トイレ
 施主名：長野県木祖村
 工事予定期間：平成26年5月～平成26年12月
 主体構造：木造
 建築面積：1,405.88㎡
 延床面積：439.35㎡

主要仕上材料
 外壁 屋根 ガルバリウム鋼板瓦葺き
 外壁 外壁用サワラ実壁張り
 キンラテコール2回塗り
 開口 木製サッシ
 工場塗装キシラデコール2回塗り
 内壁 床 鉄平石一部平板ブロック パタン塗り
 壁 ラワン構造用合板
 キンラデコールインテリア2回塗り
 天井 OS合板1+12
 (カラマツ製壁紙、母屋、東、桁梁 現し)



断面詳細図 1:50